

## ～突撃★ドメーヌ最新情報！！～

### ◆VCN°16 ル・マス・ダガリ

#### 生産地方：ラングドック

### 新着ワイン3種類♪

#### VdF ル・グラン・カレ 2015 (白)

2015年は白にとっての当たり年だった！収穫直前に降った雨のおかげでアルコール度数も12.5%まで下がり、とてもバランスの良いワインに仕上がっている。この年のアドバンテージは、夏の日照りで成長にブレーキがかかり、酸が落ちずに残ったこと！ワインの還元を防ぐために発酵中に2度ルモンタージュを施している！ワインはフルーティーで、みずみずしさを感じる！キンキンに冷やして魚介類と合わせたいワインだ！

#### VdF ヨ・ノ・プエド・マス 2015 (赤)

2015年は、サンソーとムールヴェードルが酸敗してしまったためブレンドされていない。リヨネル曰く、いつもカリニヤンの発酵に苦労することが多いが、2015年はカリニヤンが一番スムーズに発酵が終わり、逆に簡単に発酵が終わるサンソーがヴォラティルでダメになるという珍しい逆転現象が起こった年だとのこと。ワインはいつものヨ・ノ・プエド・マス通り、安定した骨格と果実の凝縮味、キメ細やかなタンニンのバランスが魅力的できれいな味わいに仕上がっている！

#### VdP コトー・デュ・サラグー・ナヴィス 2014 (赤)

2014年は、スズキに悩まされた年だったが、厳格な選果の結果驚くほど上品で滑らかなワインが出来上がった！リヨネル曰く、2014年はいつもの南のマッチョな個性よりもむしろ北のワインを彷彿させる艶やかさや上品さが果実味にあったので、そこを活かすために樽熟期間を7ヶ月と半年以上早めてワインに仕上げたとのこと！ミレジムの的には非常に厳しい年だが、出来上がったワインは、個人的な好みとしてはリヨネルのつくったナヴィスの中で一番かもしれない！かなり美味しいぞ！

### ミレジム情報 当主「リヨネル・モレル」のコメント

2014年は、白は灰色カビ病、そして赤はショウジョウバエのスズキに色々悩まされた年だった。冬はほとんど雨が降らず乾燥していたが、4月中旬から晴れたり雨が降ったりと安定しない天候が7月まで続いた。その間、開花は幸いにも雨に当たらず4日間ほどで順調に終わらせることができた。不安定な天候により、途中ミルデューとオイディウムの繁殖が心配されたが、天気予報を注意深く見ながらタイミング良く散布をしたおかげで病気の被害はうまく逃れることができた。それ以降は、8月中旬まで天候に恵まれたが、下旬からまた再び天候が崩れてしまった。白ブドウは、雨により灰色カビ病が蔓延し、また、赤はスズキの襲来により収穫は厳格な選果を迫られた。

2015年は、白にとっての当たり年だった。冬に十分な雨が降り、そのまま安定した春を迎えた。開花も雨に当たらず1週間ほどで順調に終わらせることができた。だが、6月から8月の中旬まで太陽の照り付ける乾燥した天候が続き、その影響で冬にストックした水の蓄えが底を尽きてしまった。成長にもブレーキがかかり、ブドウはバテ気味で葉が反り返るなど明らかに水不足であることが随所に確認できた。もう限界という最中8月13日、17日、21日と奇跡的に計115mmの雨が降り、ブドウは一気に元気を取り戻した！ブドウの中には一気に水を吸い過ぎて破裂し腐敗したモノも一部見られたが、全体的には豊作で、果汁のしっかりと詰まったきれいなブドウを取り入れることができた！

## 「ヨシ」のつ・ぶ・や・き



写真① ナヴィスのグルナッシュの畑

これはナヴィスに使われるグルナッシュの畑の写真♪（写真①）褐色の鉄分を多く含んだ粘土にガレ・ルレと呼ばれる楕円形の石が混ざった土壌が特徴で、リヨネル曰く、表層は粘土の割合が多いが、地中はガレ・ルレが多く含んでいて水はけが良いのだそうだ。また、あの柔らかく繊細な果実味は、砂地の土壌同様に地中のガレ・ルレが作用しているとのこと。

現在、グルナッシュはヴェレゾンの真っ最中♪（写真②）病気は一切なくブドウも今のところ健全に育っている！今年はラングドックも霜の被害に遭った地域が多かったが、リヨネルの畑は辛うじて被害を逃れることができた！だが、開花前に1週間ほど気温が落ちたのが影響してか、

グルナッシュはブドウの実を付けず途中で蔓になってしまう花流れにあったり、開花も一斉に終わらずまちまちだったり、霜がなくても寒さが少なからずブドウの成長に影響していた。実際、今回畑を見ても、一つの木でヴェレゾンが終わっているブドウとまだ始まっていないブドウが混在している木をいくつも見つけることができた。そして、現在の問題は水不足。リヨネルの話だと5月終わりからほとんど雨が降っていないとのこと。写真を見ても分かるように、葉が少し反り返り始めている。先週リヨネルは、水不足を補うために畑の畝を鋤く（うねをすく）作業を行ったのだが、「一度の鋤（すき）は3度の水撒きに匹敵する」と言う昔の人の格言があるように、水不足の時は多少なりとも有効なのだそう！また、直射日光からブドウを守るために、枝をわざと長く残して日陰を作っている。こうすることでブドウの日焼けや乾燥を防ぐのだそうだ。「今年の収穫開始は8月20日前後を考えている。それまでにしっかりと雨が降ってくれたら良いのだが…」と日照りの心配をするリヨネル。人事を尽くした後はまさに天命を待つのみ！2015年のように奇跡の雨が降ることを願いたい！



写真② ヴェレゾン中のグルナッシュ

（2017.7.24.ドメーヌ突撃訪問より）

※弊社HP「フォト・ギャラリー」より、カラーでサイズの大きい鮮明な写真をぜひご覧くださいませ